

御絵伝 (その10)

報恩講の時、内陣の余間に飾られる親鸞聖人の御生涯を描いた御絵伝は、御伝抄の内容を描いたものです。縦長の画幅のなかに、下から上へ順番に親鸞聖人のご生涯を見ることが出来ます。

第四軸・第五図 「洛陽遷化」



親鸞聖人の御遺骸を延仁寺で荼毘している情景が描かれています。

第四軸・第六図 「廟堂創立」



文永九年の冬、建立になった大谷本廟の様子が描かれています。

修復前の
山号額 →
分解して
修復しました
↓



立派に修復され
返ってきました
↓



住職レター

善教寺の山号、ご存知ですか？

善教寺の正式名称は、『慈雲山 善教寺』です。このように、既存寺院には、山号と寺号があります。

中国では、はじめ寺は山中に建てられ、その所在地の山の名が山号の始まりだったとのこと。

後になって平地に建てられた寺にも、山号がつけられるようになりました。

比叡山延暦寺、高野山金剛峰寺、東京の浅草寺は金龍山。真宗では、東西両本願寺ともに、大谷山・龍谷山と山号があります。

前置きが長くなりましたが、実はこの度、本堂の正面入り口に掲げる山号額を、修復してもらいました。

漆と金箔が立派に輝き過ぎて、周りの古さと調和がとれていませんが、そのうち土埃が付いて、雰囲気も馴染んでくるでしょう。

お参りされましたら、山号額、ご覧くださいね。